
2022年3月期 第2四半期 決算説明資料

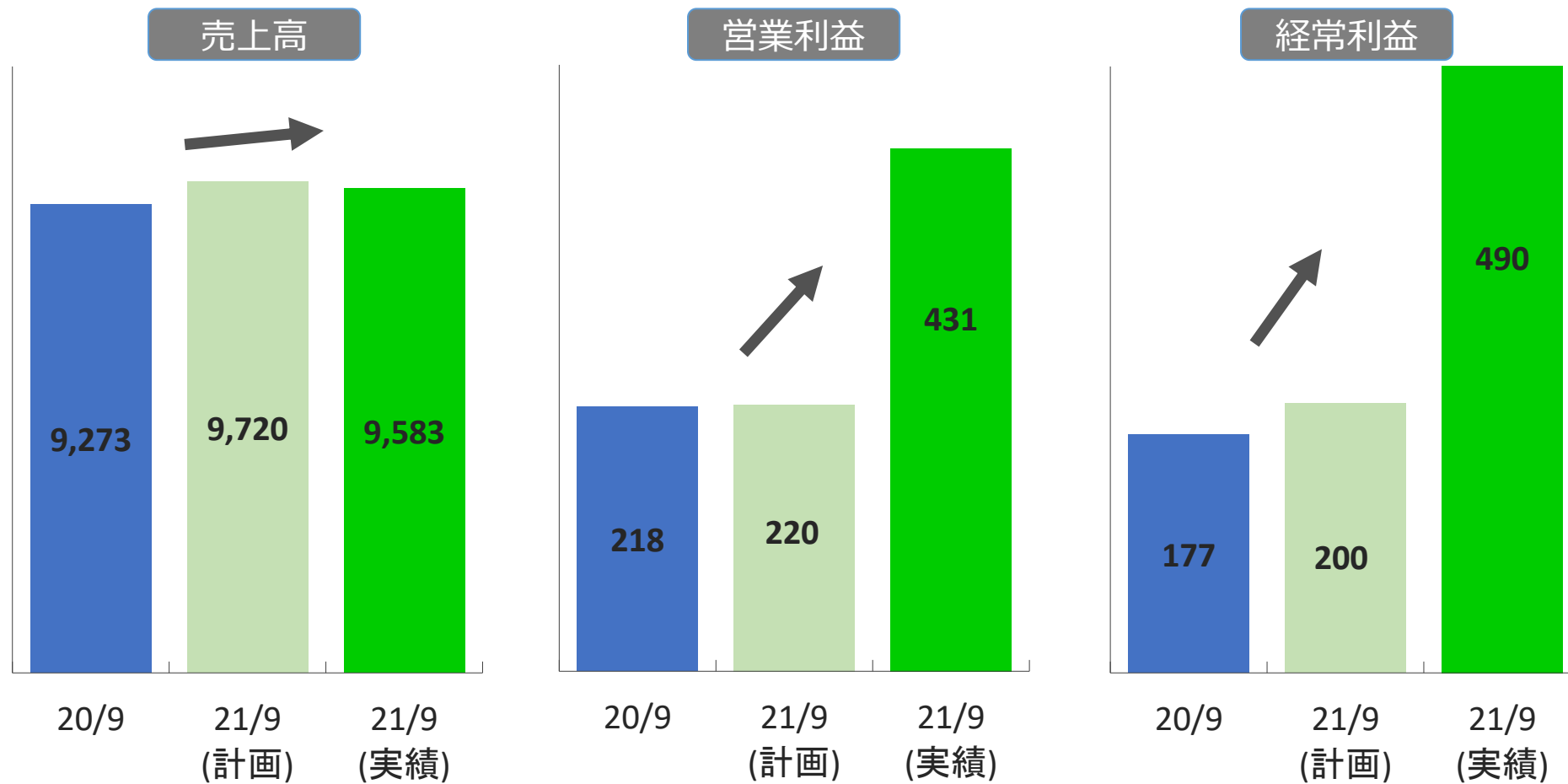
第2四半期の決算概要

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結業績ハイライト

(単位：百万円)

増収増益 利益計画達成



連結業績の詳細

(単位：百万円)

粗利益、粗利益率上昇と販売管理費抑制により増益

	20/9	21/9		計画差	前期差	前期比 (%)
	実績	計画	実績			
売上高	9,273	9,720	9,583	▲137	310	103.3
粗利益	2,197	2,420	2,441	21	244	111.1
粗利益率 (%)	23.7	24.9	25.5	0.6	1.8	—
販売費及び一般管理費	1,978	2,200	2,009	▲191	31	101.6
販管费率 (%)	21.3	22.6	21.0	▲1.6	▲0.3	—
営業利益	218	220	431	211	213	197.2
営業利益率 (%)	2.3	2.3	4.5	2.2	2.2	—
経常利益	177	200	490	290	313	276.5
経常利益率 (%)	1.9	2.1	5.1	3.0	3.2	—
親会社株主に帰属する当期純利益	60	122	334	212	274	547.8
当期純利益率 (%)	0.6	1.3	3.5	—	2.9	—
人員	493	—	481	—	▲12	—

※当社は「収益認識に関する会計基準」等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしましたが、当期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

資料：セグメント・プロダクト

セグメント	プロダクト	主な会社（略称）	商品例
システム	リテール	高千穂交易 マイティキューブ	<ul style="list-style-type: none"> ・EAS（商品監視システム）、映像監視システム ・ストアマネジメントシステム ・ディスプレイセキュリティシステム ・システム構築 
	オフィス	高千穂交易 マイティキューブ	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィス入退室管理システム ・メーリングシステム ・RFIDシステム ・ネットワークシステム ・システム構築 
	グローバル	Guardfire Limited、 Guardfire Singapore Pte.Ltd. Takachiho Fire,Security & Services(Thailand)Ltd.	防火システム 
	サービス& サポート	高千穂交易	システムセグメント内の商品の 保守・運用管理（MSPサービス含む）
デバイス	電子	高千穂交易 TAKACHIHO KOHEKI(H.K.)LIMITED 提凱貿易（上海）有限公司 ジェイエムイー（*持分法適用会社）	<ul style="list-style-type: none"> ・半導体・IC ・電子部品・センサ ・各種モジュール  
	産機	高千穂交易 TAKACHIHO KOHEKI(H.K.)LIMITED 提凱貿易（上海）有限公司 Takachiho America,Inc.	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドレール ・ガススプリング ・ソフトクローズユニット ・電子錠  

セグメント別業績（売上高・営業利益）

（単位：百万円）

		2018/9月期	2019/9月期	2020/9月期	2021/9月期	前期比
システムセグメント	売上高	5,715	6,287	5,314	5,704	107%
	構成比	63%	62%	57%	60%	104%
	営業利益	222	231	65	239	364%
	営業利益率	3.9%	3.7%	1.2%	4.2%	343%
デバイスセグメント	売上高	3,399	3,885	3,959	3,878	98%
	構成比	37%	38%	43%	40%	95%
	営業利益	72	149	153	192	126%
	営業利益率	2.1%	3.8%	3.9%	5.0%	128%
連結業績	売上高	9,114	10,173	9,273	9,583	103%
	営業利益	295	381	218	431	197%
	営業利益率	3.2%	3.7%	2.4%	4.5%	191%

両セグメントとも営業利益率改善

全社では営業利益は前期比197%

◆ システム：前期比364%の増益

リテール、サービス&サポート増収により売上は前期比107%、営業利益率も4.2%へ上昇し、コロナ感染症前の水準に

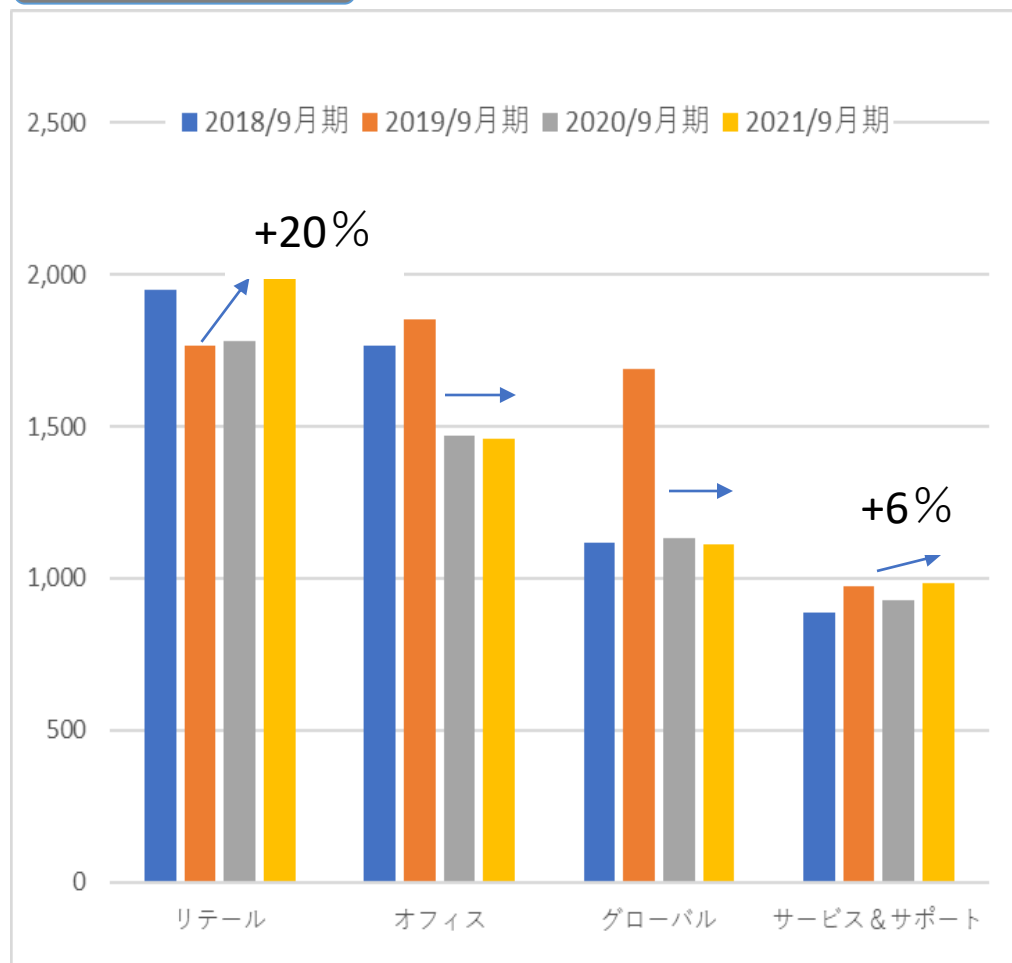
◆ デバイス：前期比126%の増益

産機事業の増収も売上は前期比98%、営業利益率は5.0%へ上昇

システムセグメント プロダクト毎の上期売上業績

リテールソリューションのCCTV・顔認証システムやMSPサービスが好調

売上高(単位:百万円)



定性情報

◆ リテールソリューション； 前期比 120%

CCTV、顔認証システムの大型案件等が好調に推移

※コロナ感染拡大も地方への出店や一部投資再開業態も

◆ オフィスソリューション； 前期比 99%

データセンターへの入退室システムが好調もリモートアクセス需要は一服感

◆ グローバル； 前期比 98%

タイでのコロナ感染拡大に伴うロックダウンの影響でほぼ昨年並みの実績

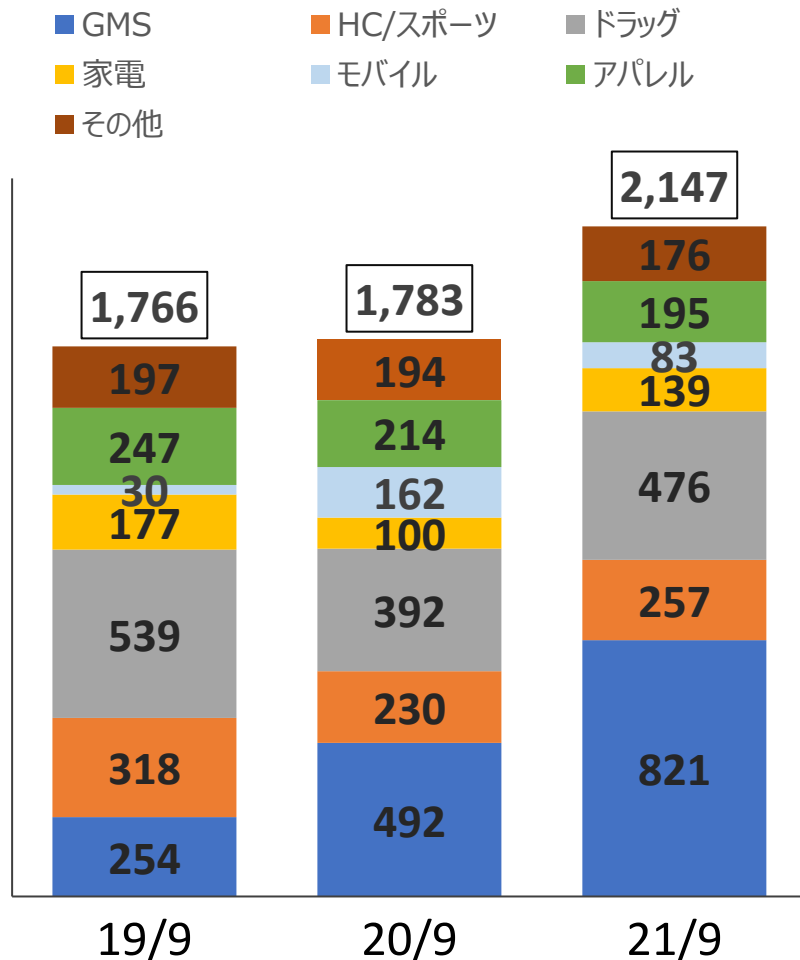
◆ サービス&サポート； 前期比 106%

MSPサービス、ネットワーク保守契約増等による増収

リテールソリューションプロダクトの業績

CCTVや小売業向け顔認証システムの大型案件などで増収

売上高(単位:百万円)



定性情報

- ◆ GMS（総合スーパー）は、CCTVと顔認証システム等の各種映像監視ソリューションの販売が拡大
- ◆ ドラッグストアは都市型店舗は停滞も、大手顧客の新店・改装需要が主に地方で拡大
- ◆ 昨年下期のモバイルショップの大型案件は一服



映像監視システム



顔認証システム



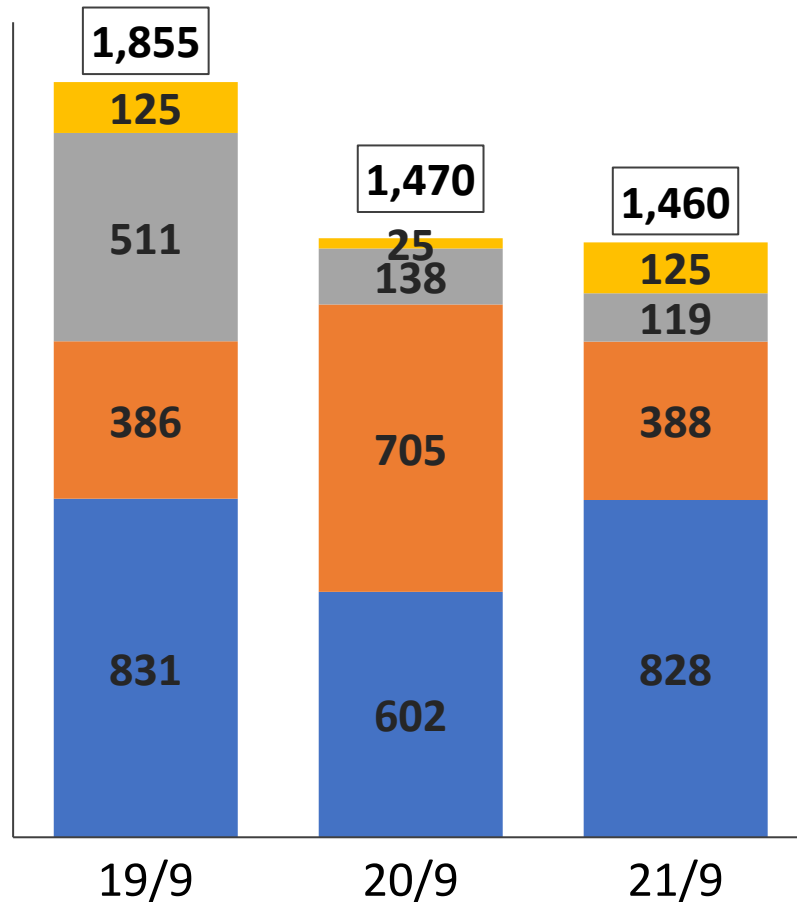
商品監視システム

オフィスソリューションプロダクトの業績

データセンター向け入退室管理システムが好調も、リモートアクセス需要が一段落

売上高(単位: 百万円)

■ オフィスセキュリティ ■ ネットワーク
■ RFID ■ メーリング



定性情報

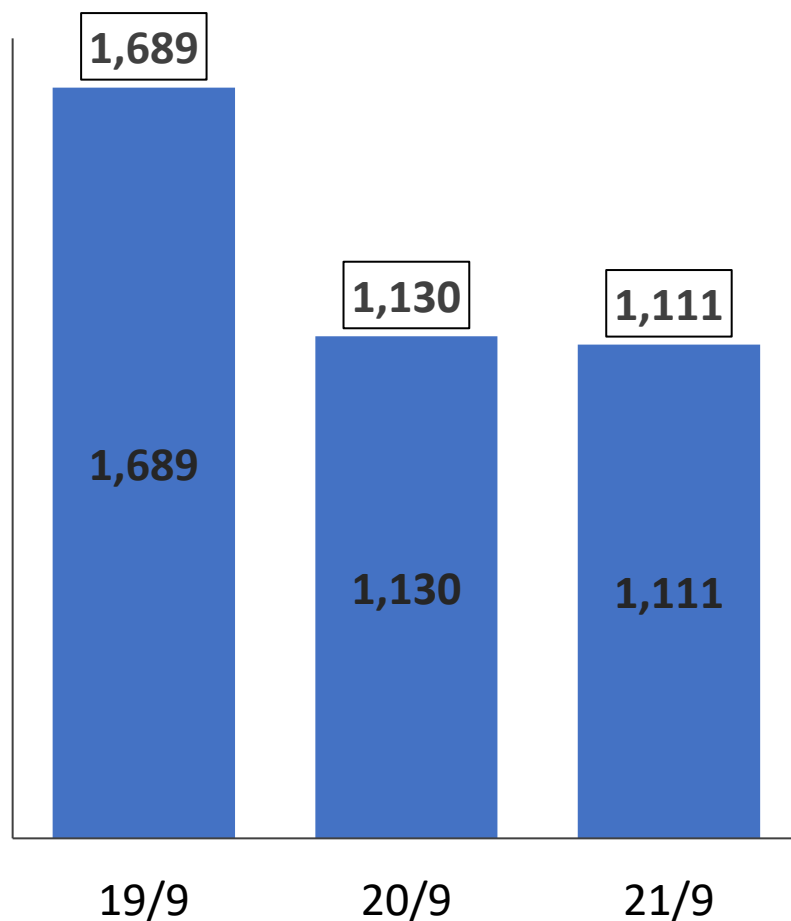
- ◆ オフィスは、データセンター向け入退室管理システムなどの販売が堅調
- ◆ ネットワークは、昨年急拡大したテレワーク需要が一段落し、リモートアクセスの売上が減少
- ◆ RFIDは、工場・物流の需要が上向きも動きが遅い



グローバルの業績

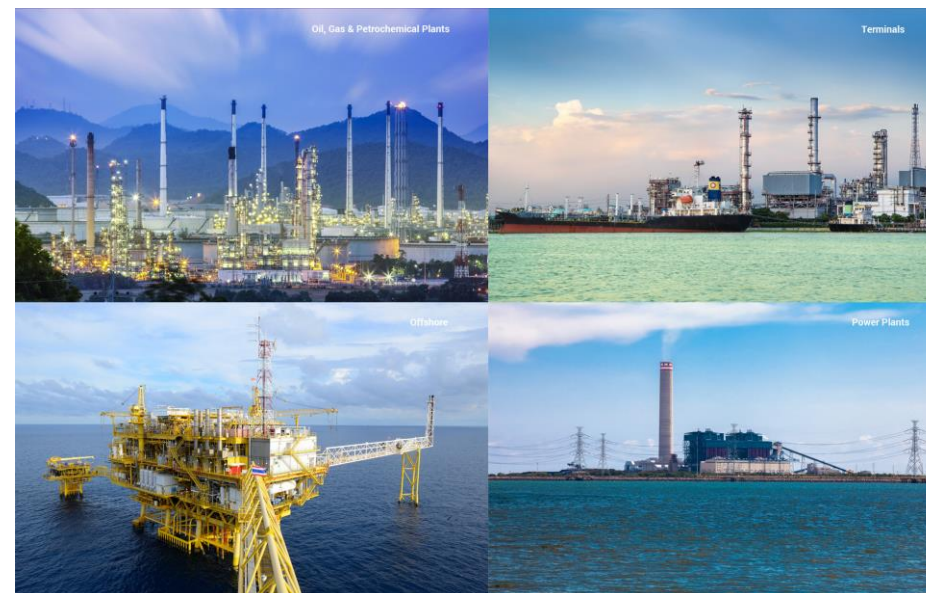
タイの防火システムの売上が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で減速

売上高(単位:百万円)



定性情報

- ◆ 一部電力、石油系プロジェクトが進捗し始めるも、COVID-19の影響は継続
- ◆ タイ国内でのロックダウンの影響で、タイ国内のビジネスが全般的に停滞し大きく減速

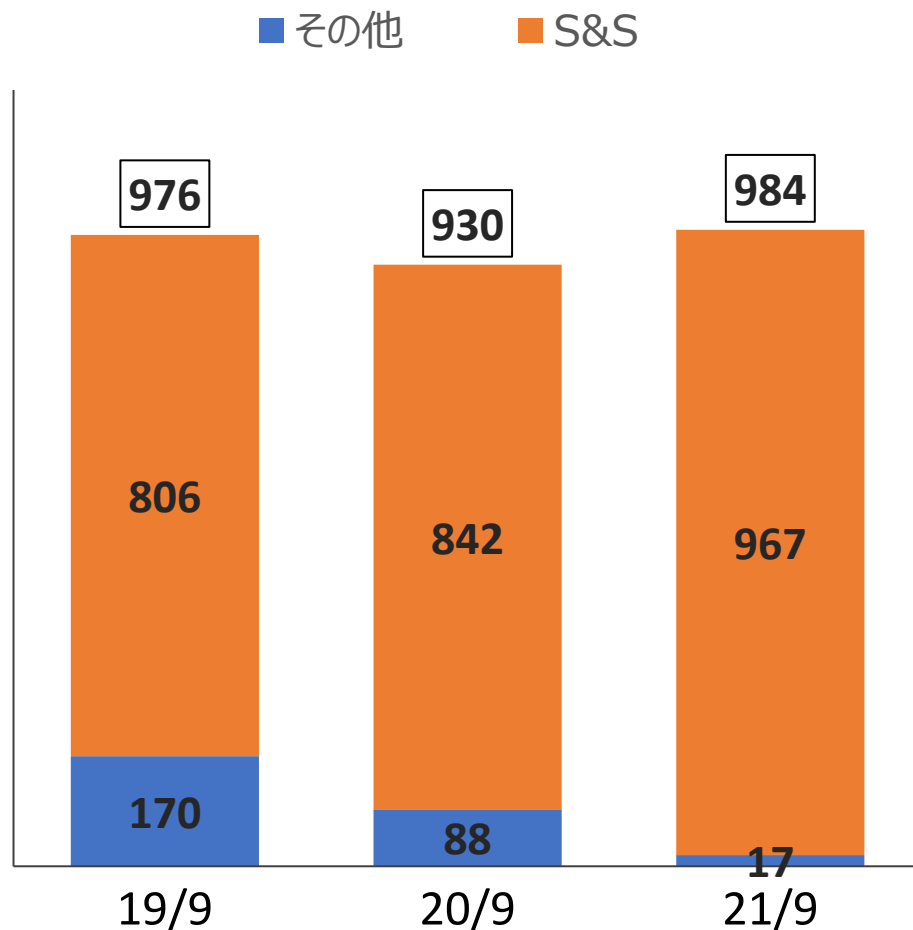


各種プラント例

サービス&サポートの業績

Cisco MerakiのMSPサービス*が好調に推移

売上高(単位:百万円)



定性情報

- ◆ サブスクリプションモデルのCisco Meraki MSPサービスが順調に拡大
- ◆ ネットワーク保守サービスの販売拡大

*マネージド・サービス・プロバイダーサービス

cisco Meraki



クラウド型無線LANシステム
MSPビジネス

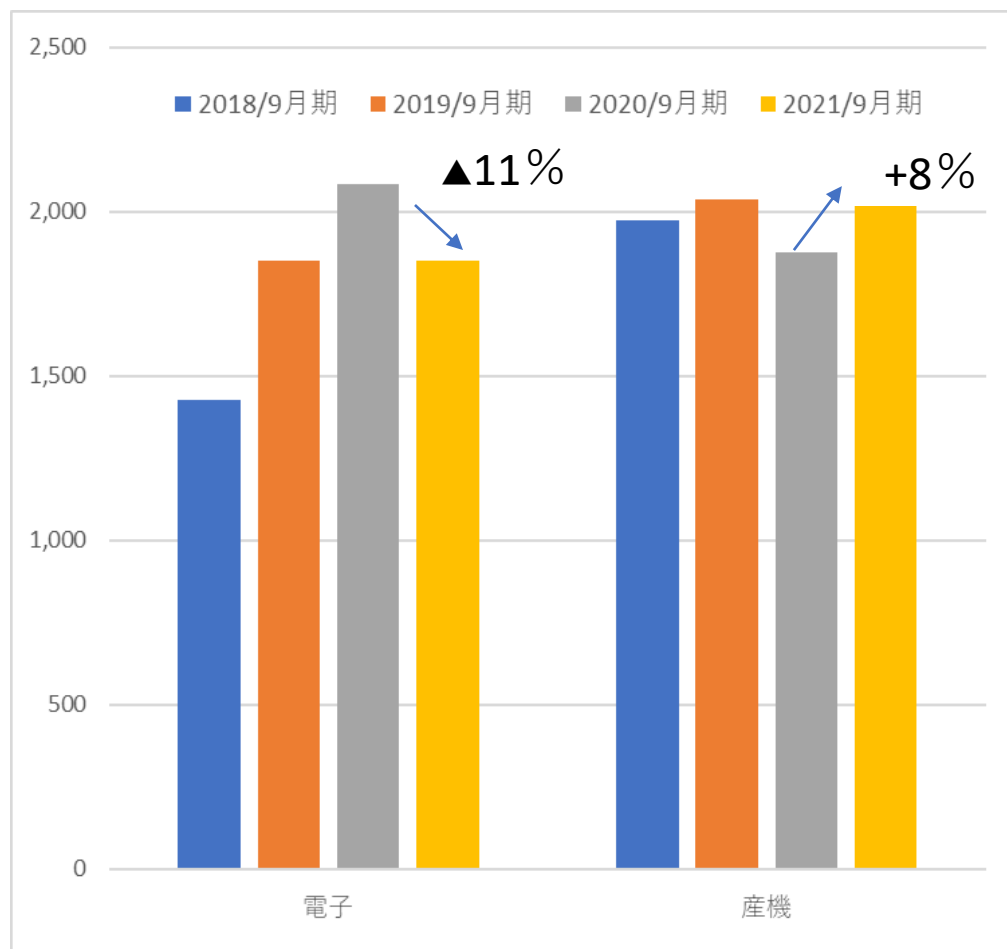


ネットワーク保守サービス

デバイスセグメント プロダクト毎の上期売上業績

産機プロダクトが好調も、電子プロダクトは減収

売上高(単位:百万円)



定性情報

◆ 電子プロダクト； 前期比 89%

半導体製造装置向けやアミューズメント向け半導体・電子部品の受注は好調に推移も、昨年度好調だった通信向け半導体及びその他電子部品の供給不足により前年比売上減

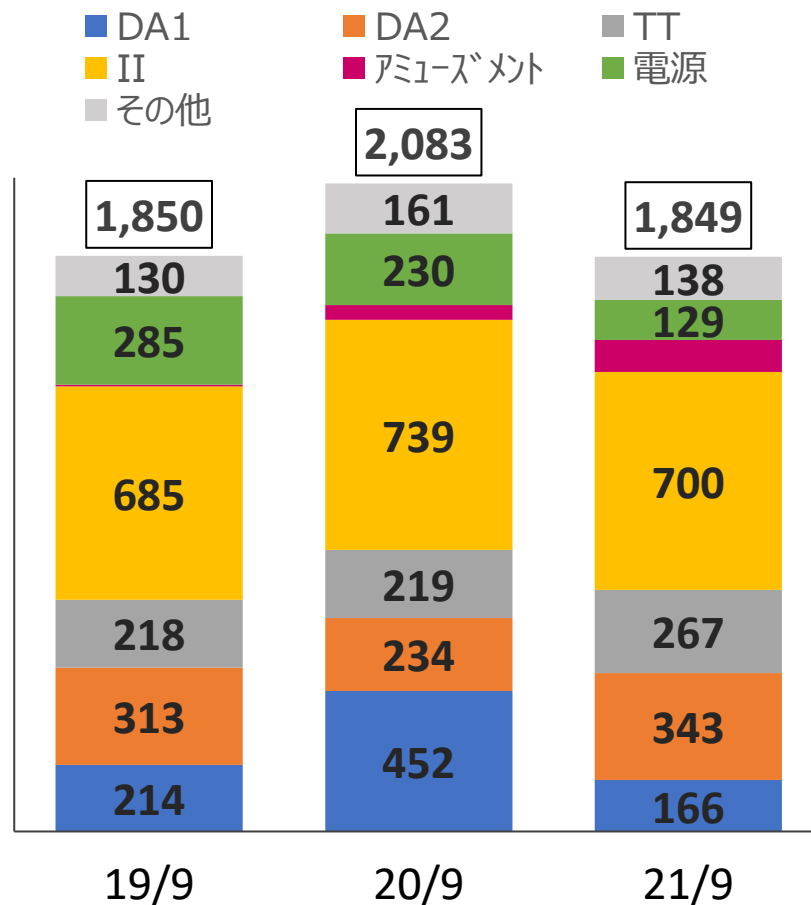
◆ 産機プロダクト； 前期比 108%

米国住宅設備向けソフトクローズ部品や産業機器向け通信ケーブルの販売が好調

電子プロダクトの業績

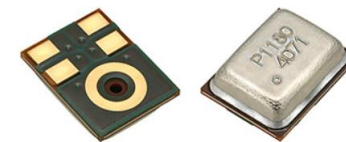
半導体製造装置向け電子部品等の受注が好調も、供給問題により減収

売上高(単位：百万円)



定性情報

- ◆ 半導体製造装置の需要が増加し関連電子部品の受注が好調。
- ◆ DA2 ; プリンター製品向け半導体の販売が拡大
- ◆ TT ; 車載用機器へのシリコンマイク販売が増加
- ◆ アミューズメント市場の新規開拓が進み売上拡大
- ◆ 世界的な半導体供給不足により通信機器向け半導体等が大幅減少



シリコンマイク



半導体製造装置向け電子部品

資料：電子プロダクトの市場区分

DA1 「デジタルアプライアンス1」

モバイル系情報家電 …… 携帯電話、スマートフォン、デジタル・カメラ、モバイルWifi等

DA2 「デジタルアプライアンス2」

設置型情報家電 …… 液晶テレビ、パソコン、プリンター等

TT 「テレマティクス」

車載用機器 …… カーナビゲーション、車載カメラ等

II 「インダストリーインフラ」

産業機器 …… 半導体製造装置、構内交換機、通信基地局、医療機器、放送設備、等

アミューズメント

…… ゲーム機、遊技機等

電源

…… 電源モジュール

その他

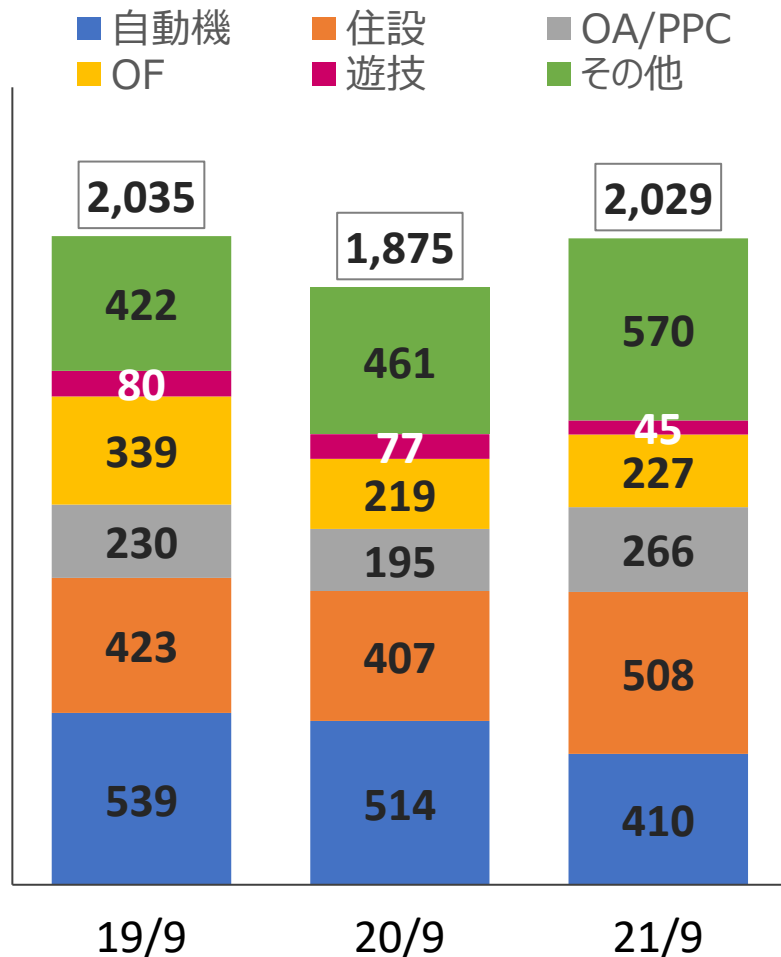
…… パワー（電源関係）、代理店販売等

産機プロダクトの業績

(単位：百万円)

米国住宅設備向けソフトクローズ部品や産業機器向け通信ケーブルが好調

売上高(単位：百万円)



定性情報

- ◆ 住設は北米住宅設備向けのソフトクローズ部品（ダンパー）の需要が拡大
- ◆ OA/PPCはソフトクローズ付きレールの新規採用が進み売上拡大
- ◆ 自動車内装の需要は堅調に推移
- ◆ 太陽光発電パワーコンディショナー向けプリント基板や通信ケーブル・給電ケーブルなどデジタル商材が伸長



北米向けダンパー



自動車内装向けコンストンパネ



産業機器等ケーブル

資料：産機プロダクトの市場区分

自動機

… ATM（現金自動預け払い機）、券売機、釣銭機、自動販売機等

住設「住宅設備」

…システムキッチン、福祉機器、引き戸、昇降棚、便座フタ（北米）等

OA・PPC

…複合機、複写機、コピー機、プリンター、印刷機等

OF「オフィスファニチャー（家具）」

…オフィス・医療用キャビネット、机、椅子等

遊技

…パチンコ、パチスロ、パチンコ台間機、ゲーム機、アミューズメント設備等

その他

…上記以外で自動車・鉄道関連、半導体製造装置、サーバーラック等

貸借対照表の状況

(単位：百万円)

商品及び製品が増加

	21/3	21/9	構成比(%)	増減
流動資産	16,516	15,837	83.6	△679
現金預金	6,000	5,387	28.4	△613
受取手形及び売掛金、契約資産	7,018	6,313	33.3	△705
商品及び製品	2,431	3,112	16.4	681
固定資産	2,956	3,103	16.4	147
有形固定資産	577	567	3.0	△10
無形固定資産	337	320	1.7	△17
投資その他資産	2,041	2,214	11.6	173
資産合計	19,473	18,941	100.0	△532
流動負債	4,547	3,878	20.5	△669
支払手形及び買掛金、契約負債	3,736	3,186	16.8	△550
固定負債	751	732	3.9	19
純資産	14,174	14,330	75.7	156
負債純資産合計	19,473	18,941	100.0	△532

収益認識会計基準等を適用したため、従来「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」のうち、契約資産に該当するものは第1四半期連結会計期間より「契約資産」としました。また、従来「流動負債」に表示していた「その他」に含まれていた一部の負債は、第1四半期連結会計期間より「契約負債」としてしています。なお、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

連結キャッシュ・フロー計算書の状況

(単位：百万円)

営業CFは純利益増も棚卸資産、契約資産の増加によりマイナス
投資活動によるCFはファンドへの出資、基幹システムへの支出が減少

	20/9	21/9	前期差
営業活動によるキャッシュフロー	△284	△227	57
投資活動によるキャッシュフロー	△548	△245	303
財務活動によるキャッシュフロー	△107	△115	△8
現金及び現金同等物の増減額	△951	△613	338
現金及び現金同等物の期首残高	5,099	4,900	△199
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,148	4,287	139

株主還元について

1株 年間24円を下限に、業績に応じた利益配分配当方針

	1株あたり 年間配当金	内中間配当	配当性向：連結
2018年3月期	24円00銭	12円00銭	171.2%
2019年3月期	24円00銭	12円00銭	44.8%
2020年3月期	24円00銭	12円00銭	112.1%
2021年3月期	25円00銭	12円00銭	40.6%
2022年3月期（予想）	※－	12円00銭	※－

※2021年3月期配当については、安定的な配当をおこなう方針に加え、業績に応じた利益配分をおこなうこととし、原則として現状の安定配当額（年間24円）を下限とします。第2四半期末の配当金は12円とし、期末配当金は年間配当額を連結配当性向40%以上とすることを基本方針とします。

通期の見通し

※当資料の金額の記載は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

通期計画

(単位：百万円)

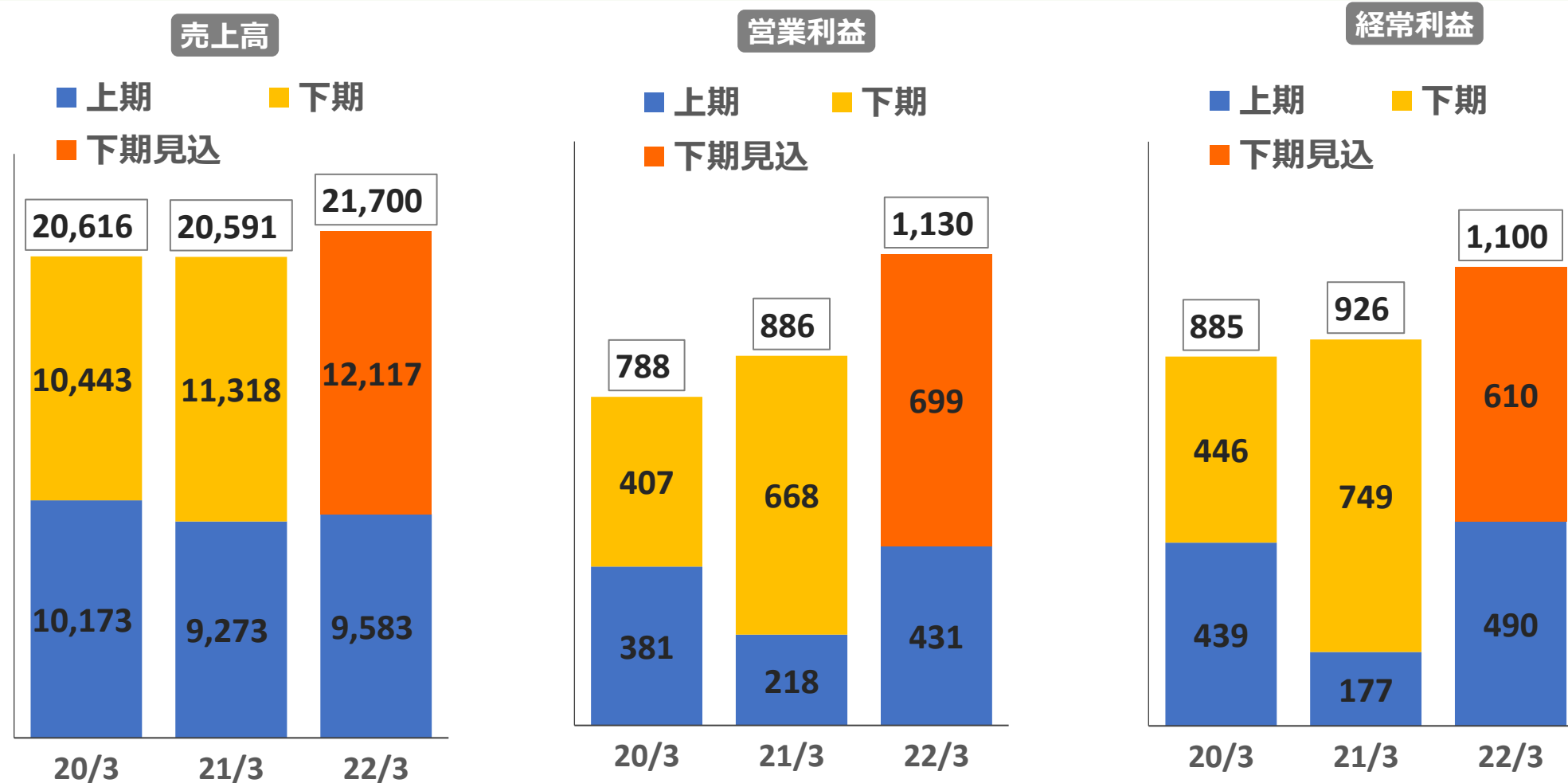
収益率を改善し増収増益計画

(百万円)	20/3 実績	21/3 計画	前期差	前期比 (%)
売上高	20,591	21,700	1,109	5.4
粗利益	4,930	5,630	700	14.2
粗利益率 (%)	23.9	25.9	2.0	-
販売費及び一般管理費	4,043	4,500	457	
販管费率 (%)	19.6	20.7	1.1	-
営業利益	886	1,130	244	27.5
営業利益率 (%)	4.3	5.2	0.9	-
経常利益	926	1,100	174	18.7
経常利益率 (%)	4.5	5.1	0.6	-
親会社株主に帰属する当期純利益	548	770	222	40.4
当期純利益率 (%)	2.7	3.5	0.8	-

下期計画

(単位：百万円)

上期の利益実績が好調に推移し、受注残も増加傾向も、不安定な電子部品の供給や材料不足等により通期計画は据え置き



セグメント別通期見通し（売上高・営業利益）

（単位：百万円）

		2020/3月期			2021/3月期			2022/3月期実績・計画			前期比
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
システムセグメント	売上高	6,287	6,277	12,564	5,314	7,375	12,689	5,704	7,016	12,720	100%
	構成比	62%	60%	61%	57%	65%	62%	60%	58%	59%	95%
	営業利益	231	220	451	65	544	609	239	471	710	117%
	営業利益率	3.7%	3.5%	3.6%	1.2%	7.4%	4.8%	4.2%	6.7%	5.6%	116%
デバイスセグメント	売上高	3,885	4,166	8,051	3,959	3,942	7,901	3,878	5,102	8,980	114%
	構成比	38%	40%	39%	43%	35%	38%	40%	42%	41%	108%
	営業利益	149	187	336	153	123	276	192	228	420	152%
	営業利益率	3.8%	4.5%	4.2%	3.9%	3.1%	3.5%	5.0%	4.5%	4.7%	134%
連結業績	売上高	10,173	10,443	20,616	9,273	11,318	20,591	9,583	12,117	21,700	105%
	営業利益	381	407	788	218	668	886	431	699	1,130	128%
	営業利益率	3.7%	3.9%	3.8%	2.4%	5.9%	4.3%	4.5%	5.8%	5.2%	121%

通期連結営業利益は前年比128%、増収増益の見通し

◆ **システム：営業利益前年比の117%**

オフィス、サービス&サポートの増収見通しもリテールの昨年の大型案件の影響で、売上は微増、営業利益は増益の見通し

◆ **デバイス：営業利益前年比152%**

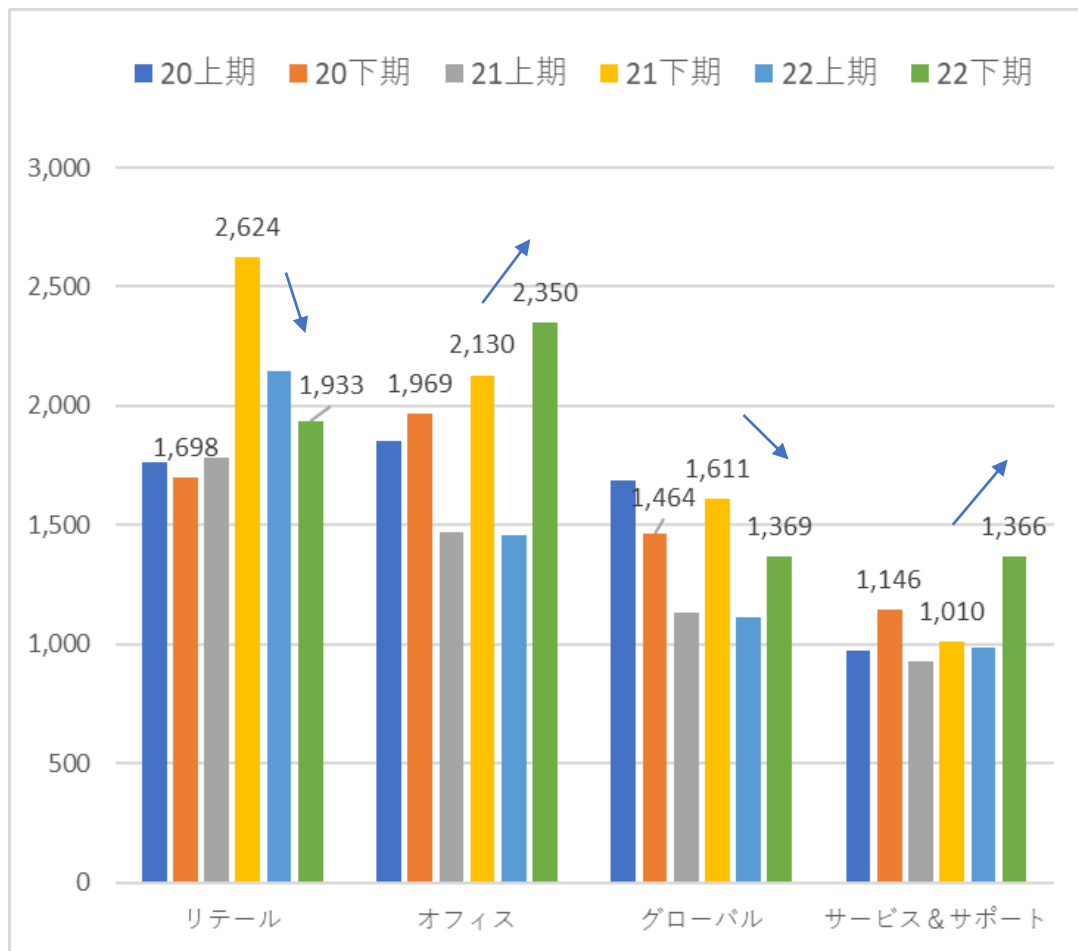
受注残を背景に電子、産機両事業ともに増収、増益の見通し。

システムセグメント プロダクト毎の下期売上見通し

データセンター向け入退室管理システム、サブスクリプション・保守等の拡販

売上高(単位:百万円)

定性情報



◆ リテールソリューション； 前期比 73%

- ・ 昨年のモバイルショップ向け大型案件の影響
- ・ 引き続き活発なCCTV需要の取り込み

◆ オフィスソリューション； 前期比 110%

- ・ 外資系データセンターへの入退室システム販売
- ・ Verkada等新商品の積極投入と拡販

◆ グローバル； 前期比 85%

- ・ タイの新型コロナウイルス感染症の影響により不透明な状況

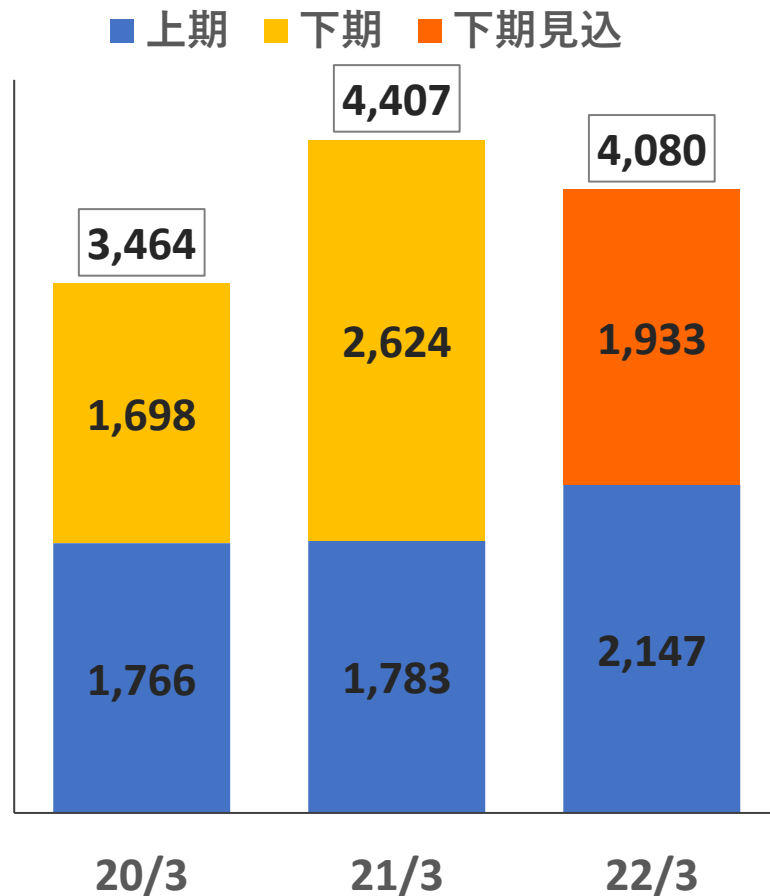
◆ サービス&サポート； 前期比 135%

- ・ リテール及びオフィス関連のサブスクリプション・保守等の拡大とネットワーク保守契約増等

リテールソリューションプロダクトの販売計画

CCTVと顔認証システムを含む各種映像監視ソリューションの販売を推進

売上高(単位:百万円)



主な施策

- ◆ 商品監視システム・監視カメラ等のリプレイス及び各種映像監視ソリューションの販売を強化
- ◆ クラウド型DX商材iRetailクラウド（トラフィックカウンターアプリケーション）等の発売及び拡販
- ◆ 昨年のモバイルショップ向け大型案件の減少で通期見通しは減収



商品監視システム



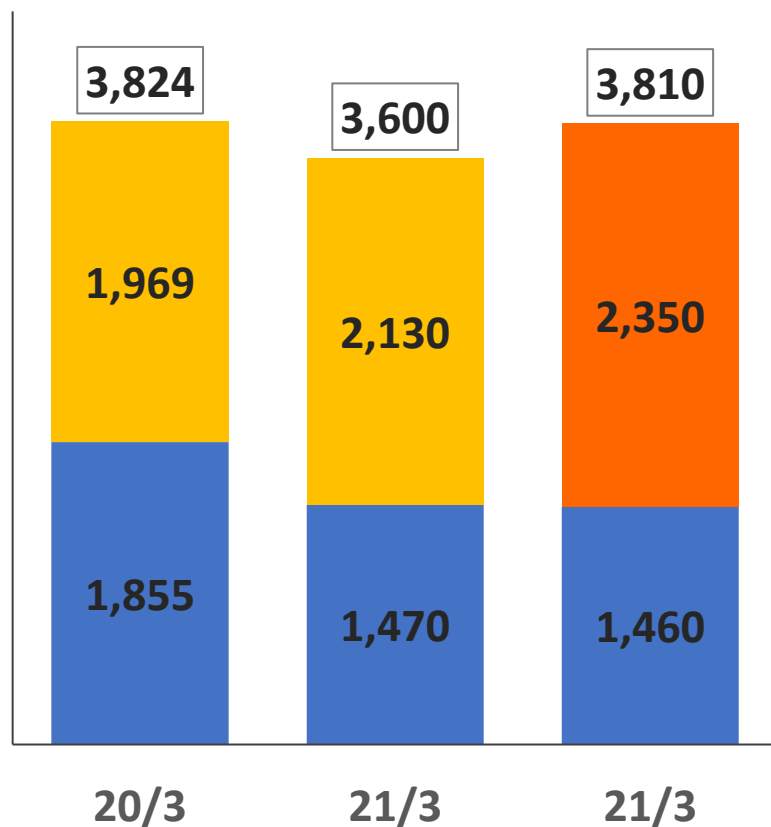
トラフィックカウンター

オフィスソリューションプロダクトの販売計画

データセンター向け入退室管理システムの拡販継続とDX型サービスビジネスの拡充

売上高(単位:百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込

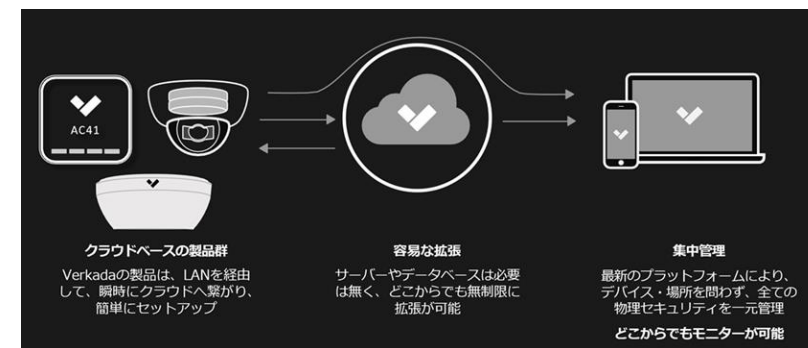


主な施策

- ◆ 拡大するデータセンター市場への継続的な入退室管理システムの販売強化
- ◆ オフィスの分散化に最適なVerkada (AIカメラ・入退室管理・環境センサーをクラウド上で統合管理)の国内新発売と早期拡販
- ◆ 産業系工場・オフィス入退室管理、資産管理、持ち出し防止システム等のRFID需要の取り込み拡大



入退室管理システム

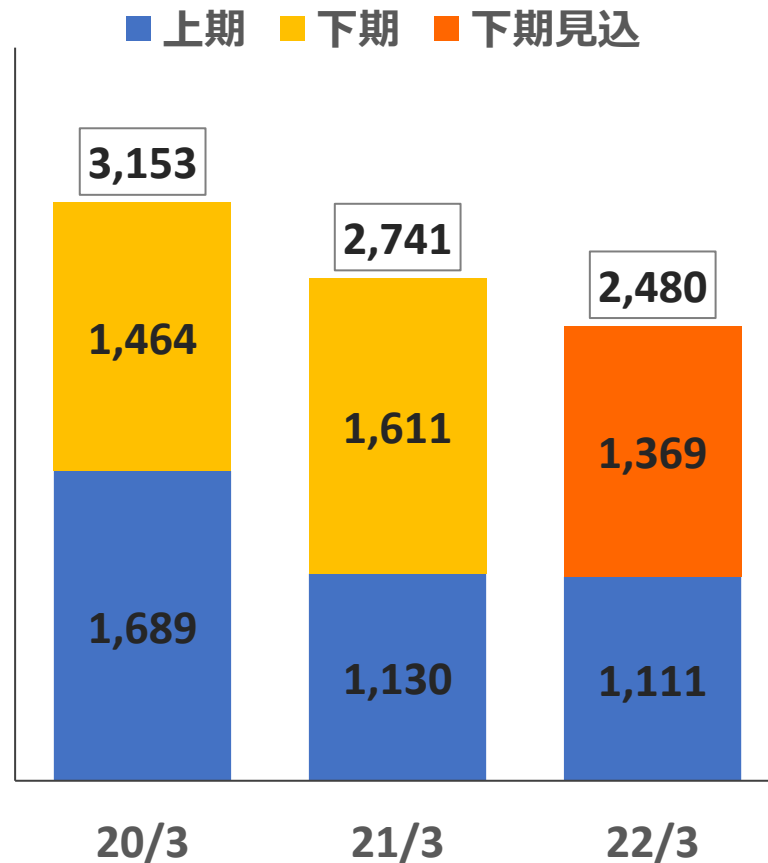


クラウドベースの統合セキュリティソリューション
Verkada

グローバルの販売計画

コロナ感染症の影響が不透明も、プラント建設の確実な取り込みを推進

売上高(単位:百万円)



主な施策

- ◆ 高度防火システムのプラント建設の進行に伴う確実な売上計上
- ◆ タイ国内の保守サービス案件の取り込み及びプロダクト販売の強化



電力系プラント



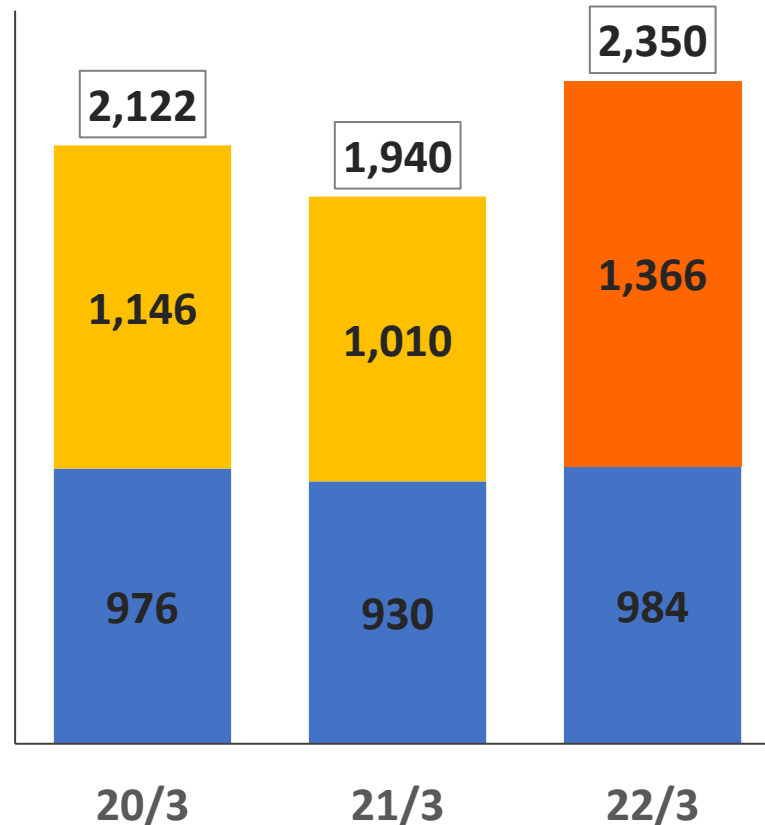
防火設備プロダクト

サービス&サポートの販売計画

Cisco MerakiのMSPサービスに加え、新クラウドサービスの導入を推進

売上高(単位:百万円)

■ 上期 ■ 下期 ■ 下期見込



主な施策

- ◆ クラウド型無線LANシステムを利用したMSPサービスの販売強化
- ◆ ネットワーク保守契約の拡大
- ◆ 各種ネットワークサブスクリプションモデルの拡大 (Velocloud、d-dive、Vade secure等)

CISCO Meraki



クラウド型無線LANシステム
MSPビジネス

velocloud™ Now part of VMware

vade

d-dive
Data-Driven Innovation for the Value Economy

法人のお客様向け

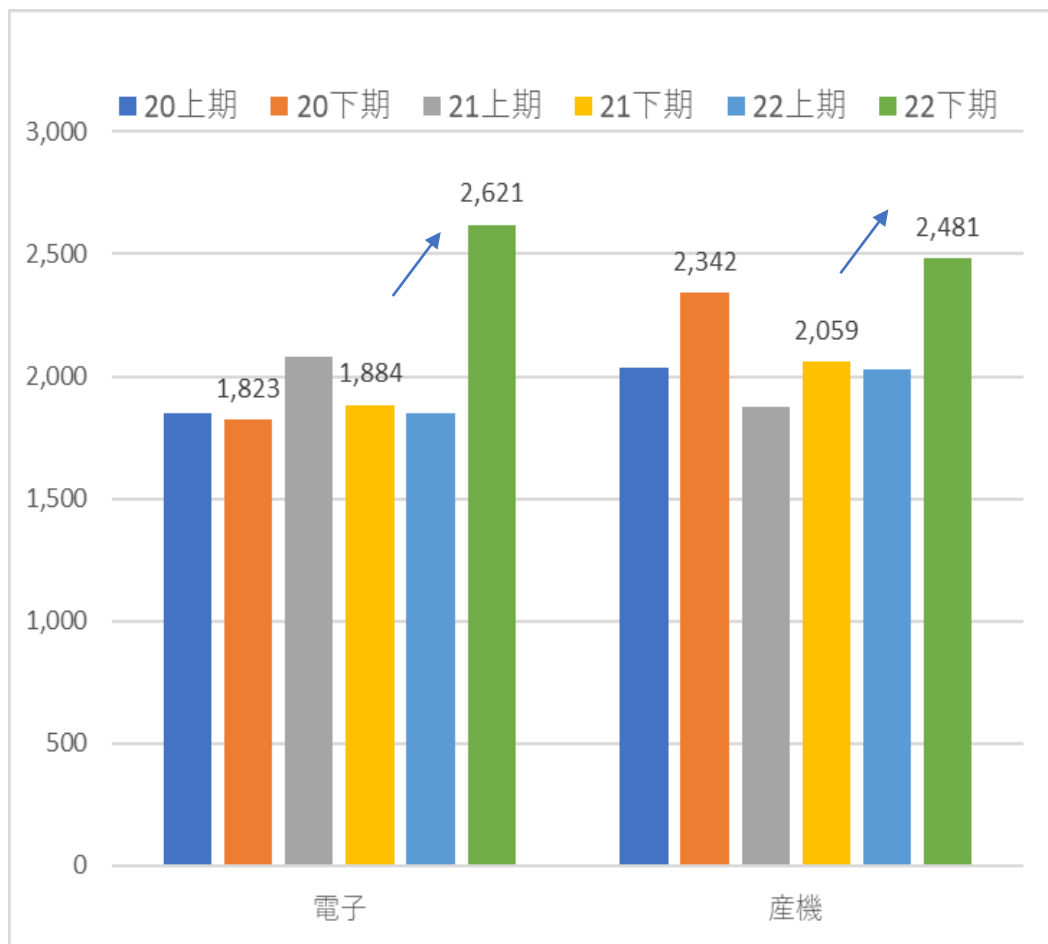
Wi-Fiサービス

各種クラウドサービス

デバイスセグメント プロダクト毎の下期売上見通し

両プロダクト共に上期の受注残を確実に取り込み増収見通し

売上高(単位:百万円)



定性情報

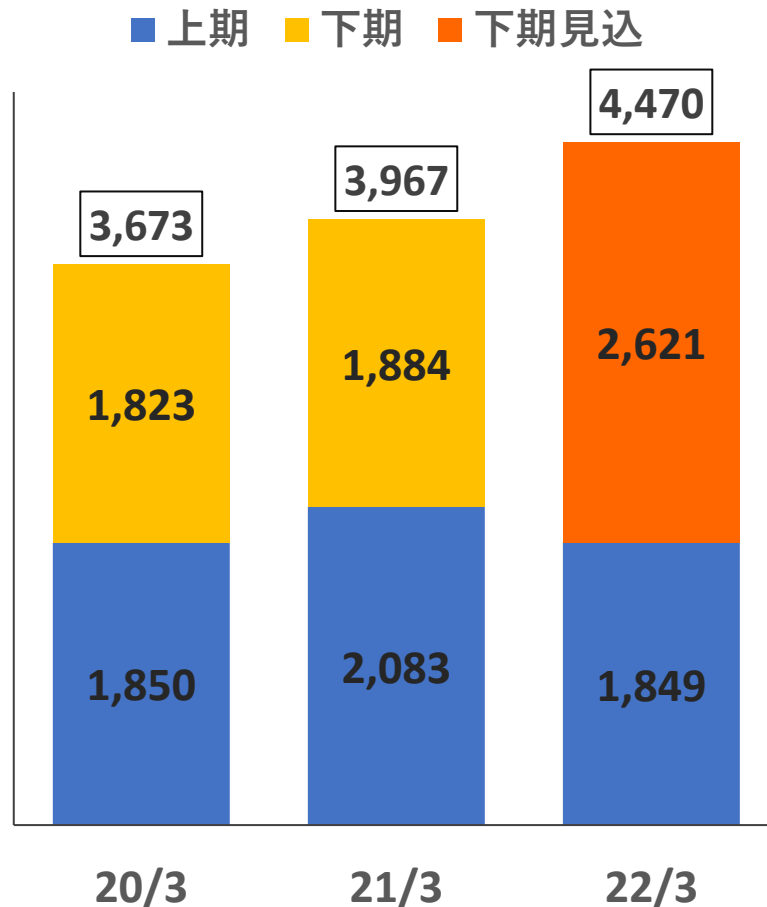
- ◆ 電子プロダクト； 前期比 139%
 - ・ 大量の受注残の確実な取り込み
 - ・ 半導体製造装置、アミューズメント向け半導体好調継続
 - ・ 新サプライヤー（ヌヴォトンテクノロジージャパン等）の拡販

- ◆ 産機プロダクト； 前期比 120%
 - ・ 受注残の確実な取り込み
 - ・ 産業機器、システムキッチン向けパワーサプライ品の拡販
 - ・ 北米のダンパー製品の新規案件獲得

電子プロダクトの販売計画

半導体供給面が不透明も、受注残への対応と産業機器分野、ソリューションビジネスを推進

売上高(単位:百万円)

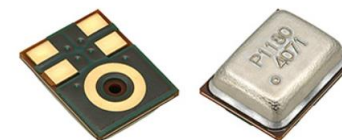


主な施策

- ◆ 産業機器、車載、アミューズメント分野へ一層の販売強化
- ◆ ヌヴォトン テクノロジージャパン、LuxShare等の新規取扱サプライヤの拡販
- ◆ コア製品（マイコン・プロセッサ）、音声、センサー等ソリューションビジネスのシェア拡大



半導体・IC



シリコンマイク

nuvoTon

ヌヴォトンテクノロジージャパン
(旧パナソニック半導体)

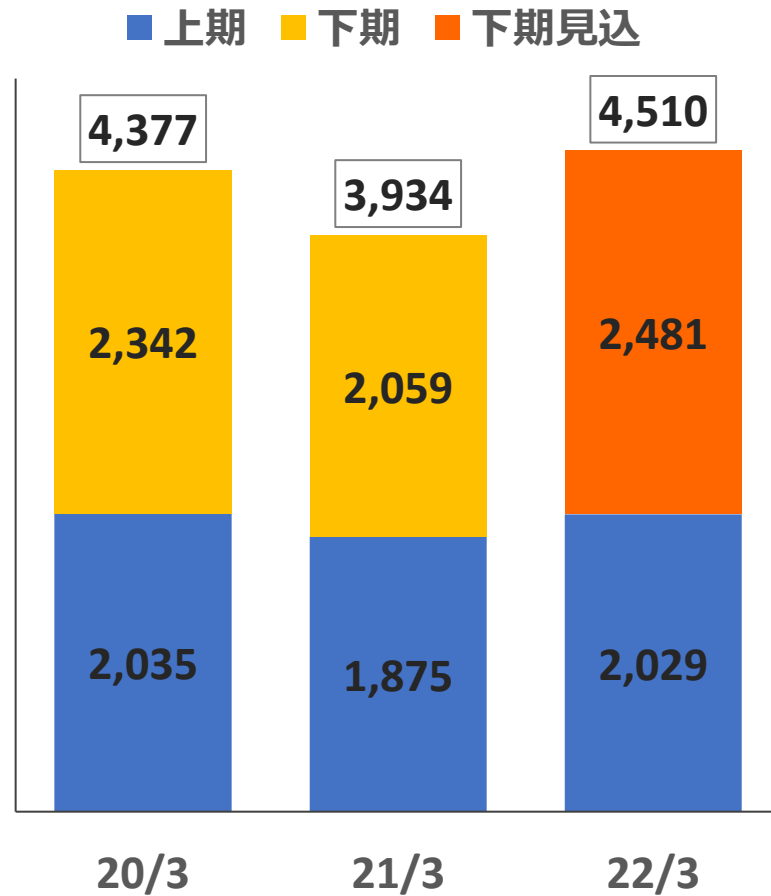
LUXSHARE ICT

センサー系半導体類

産機製品の販売計画

北米・中国での販売強化とデジタル系製品の市場開拓

売上高(単位:百万円)



主な施策

- ◆ 住宅設備市場を中心に北米・中国で販売強化 (Made in Japanを前面に)
- ◆ 半導体製造装置などの産業市場での通信ケーブル採用促進
- ◆ PC、タブレット向け給電保管庫 (モジュール、本体) の販売推進



海外向けソフトドアクローザー



USB-TYPE-C保管庫 (給電)



産業機器等ケーブル

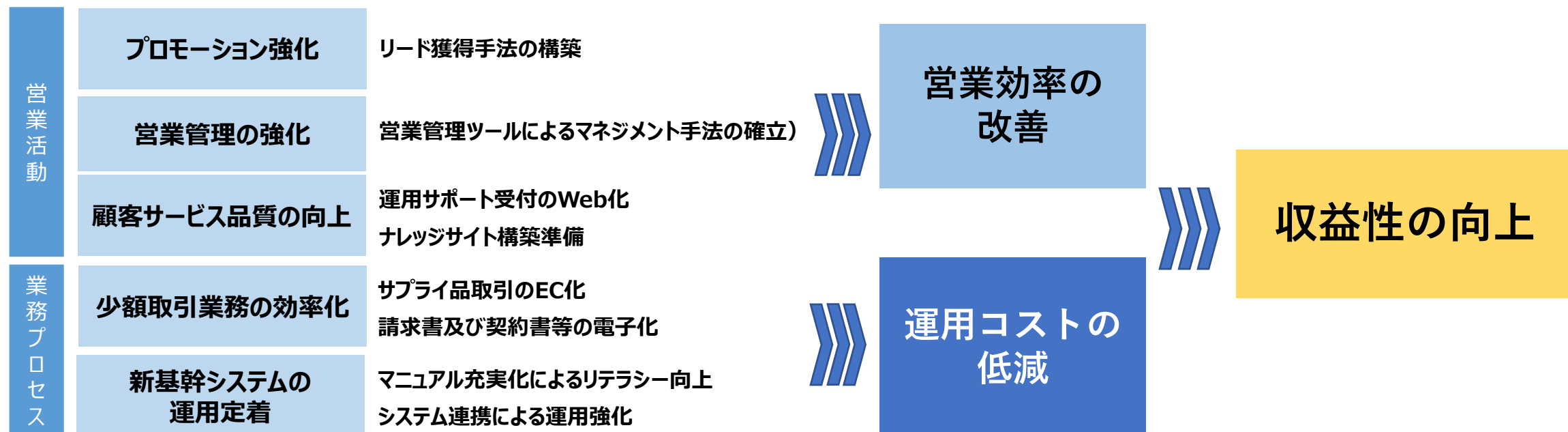
TOPIX

事業構造改革と生産性向上に向けDXを推進

◆ DXを通じたビジネスモデルの変革 → 収益性の向上

- ① DXによるマーケティング、営業手法、及び技術サービスのデジタル化推進
- ② IT投資による更なる業務改革と生産性向上を目指す社内プロセスのデジタル化と組織のスリム化
- ③ テレワークなどデジタル環境下での働き方改革を実現

<21年度の取り組み>



DXを推進するクラウドサービス

Verkada（ヴェルカダ）

世界的高評価の先進的なハイブリッドAIクラウドカメラ技術を持つ統合セキュリティソリューション

□システム構成

- ◆先進的なAIハイブリッド型カメラ
- ◆入退室管理システム
- ◆環境センサー



クラウド型ハイブリッドAIカメラシステム



環境センサー Environmental Sensor
An all-in-one sensor to unlock new insights

□特長

○専用のサーバーなどが不要で、システム導入は、デバイスをインターネットに接続するだけ。現場の作業もシンプルで大幅なコスト削減に繋がる

○最新のファームウェアが自動的にアップグレード、システムは常に最新の情報セキュリティ対策を確保。「AIスマート映像検索機能」などの新機能も、無償でアップグレード。常に最新のAIセキュリティ機能を使用可能。

○8種のセンサー（温度、湿度、ノイズ、モーション、空気質指数など）で、グラフ化された測定データや映像を管理ダッシュボード上で管理・分析。非常時には、アラートで通知、ライブ映像で状況を詳細に把握することが可能。

オフィスや製造現場における働く空間環境の可視化、サーバー室内の温度や環境変化の検出、学校など禁煙場所での喫煙の検出等、幅広い用途に使用が可能です。



東証市場再編関連及び今後のスケジュール予定

12月

- 市場選択に関する取締役会決議とそれに伴う開示
- 改訂後コーポレートガバナンス・コードに関する報告書

2月

- 次期中期経営計画の開示を予定
- 中期経営計画説明会

質疑応答

質問①

- 御社の配当方針は配当性向40%以上とされていますが、見通し7億7千万円の純利益となると計算上、年間一株当たり35円程度となりますが、これで正しいでしょうか？

回答 岩本

- 当社の決算短信では明確に数値をお出ししていませんが、7億7千万円の純利益となった場合は、配当方針に従い、ご指摘の通りの一株配当になるかと存じます。なお増益もしくは減益の場合は、それに伴い配当額も変化致します。また期末配当につきましては株主総会での決議が必要であることをご了承いただきたく宜しくお願いいたします。

質疑応答

質問②

- 半導体の供給問題が様々な分野に影響を与えていますが、どのような対策を講じているのか教えてください

回答 井出社長

- 主に電子事業についてのご質問と捉え回答させていただきます。
- 既にご承知の通り、世界的な半導体需要の拡大と世界的な情勢により半導体の供給が減少もしくは大きく遅延しています。特にファブレス系の半導体メーカーは製造メーカーの生産キャパシティの問題から製造そのものが進まず、供給において大きな遅延が生じております。
- 上期においてもその問題から予定通りの売上が立たないなど当社売上にも大きな影響がございました。これに対して私共は商社として、供給元と粘り強く交渉し、調達量の確保及び納期を早めるなどの対応はもちろん、幅広いラインナップから調達できる代替半導体を探し出し、お客様にご提案及びご提供する対応を取っております。当然ながら品質面についてお客様での厳しい品質検査に適合していることが条件となりますが、従来品より良くなったとご評価いただくこともあります。
- このように非常に困った状況ではございますが、競合の半導体が品不足でしばらくお取引のなかったお客様から当社に相談いただくこともあり、新たな案件の獲得に繋がることもありました。今後とも当社の強みを活かした対応を行い、事業の拡大とともにお客様にご迷惑をかけないよう努力して参ります。

質疑応答

質問③

- グローバルの業績が悪いようですが、今後はどのように見ているのか教えてください

回答 井出社長

- タイでのコロナ感染症の状況は既にご説明しておりますので、当社の戦略上のお話しも少しお話しさせていただきます。
- タイの高度防火システム事業は東南アジアエリアの今後の市場成長を捉え、当社グローバル展開の一つとして推進しているものです。短期的には、コロナ感染症の影響から大きく市場が落ち込んでいますが、中長期的には人口拡大、経済成長により、特に電力を中心にエネルギー需要は大きく拡大すると予想されています。
- 世界的に脱炭素が叫ばれる中、発電プラントも石炭火力の廃止や縮小など、それに合わせた対応がなされていきますが、拡大するエネルギー需要に応えるために、新規プラント建設はこれからも行われていくものと考えています。防火設備は必ず必要となりますから、当社の防火システム事業もその状況に合わせた変化をして参ります。
- 今後しばらくは新型コロナウイルス感染症のリスクを注視しながら事業経営を行って参ります。

ありがとうございました。



当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、
記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。